

災害時における ペットの対策

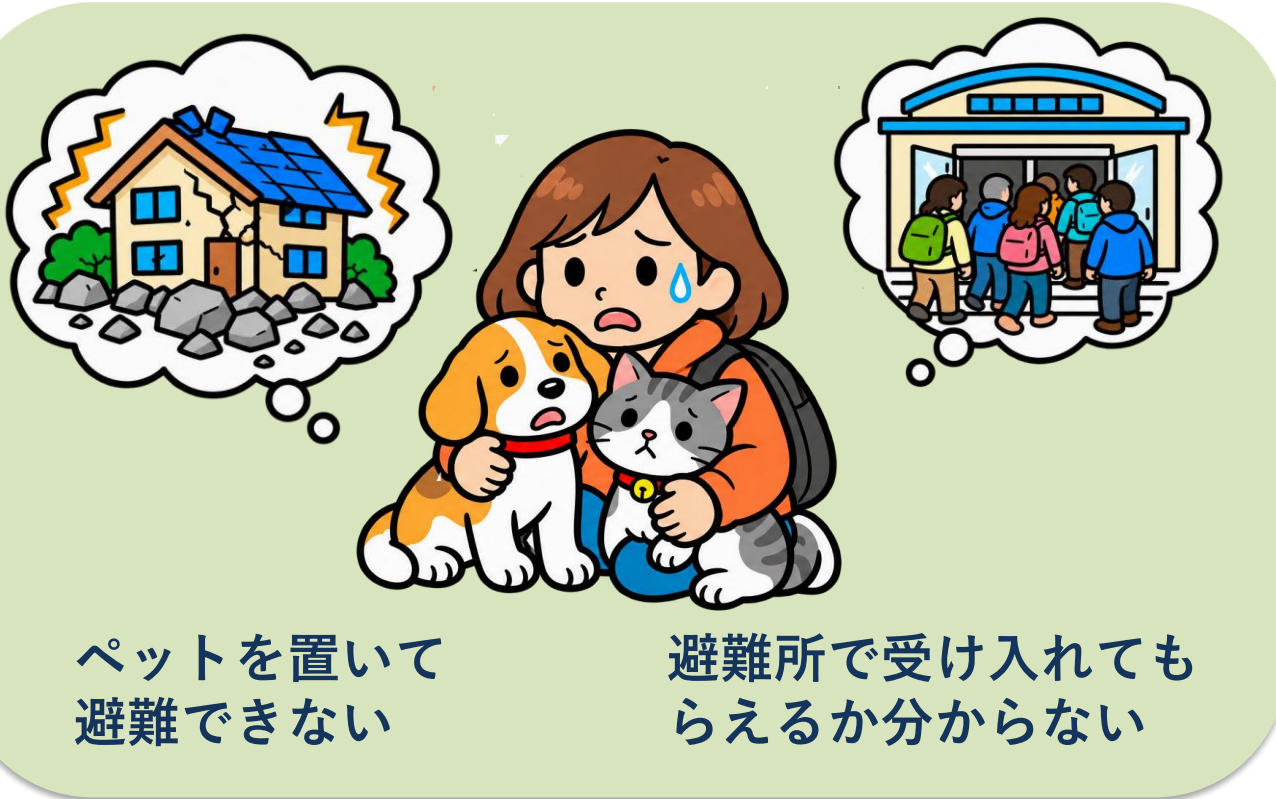
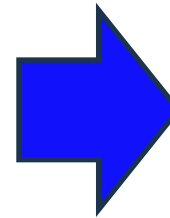
～被災動物への取り組み～



令和8年10月17日 静岡県中部保健所動物保護指導班

過去の災害で起こったこと①

ペットがいることで、避難をためらう・避難所生活を選ばない



避難所生活を選ばず
車中泊などを選択

飼い主の避難行動に影響する

過去の災害で起こったこと②

ペットを残して避難した後、危険な場所へ戻る



自宅にペットを残して避難



心配になり、危険な場所へ戻る



飼い主自身が再び危険にさらされる

過去の災害で起こったこと③

ペットが取り残される・飼い主とはぐれる

ペットが自宅に取り残される・飼い主とはぐれる



ケガ・衰弱・
死亡のおそれ

逃げ出して
放浪する

取り残されたペットの と が脅かされる

過去の災害で起こったこと④

放浪動物が地域にも影響



繁殖による頭数増加

人への危害

ごみ荒らしなど

ペットの問題は、地域住民の や にも関わる

過去の災害で起こったこと⑤

避難所での受け入れ・飼育管理の問題



鳴き声・臭い・排せつ物・抜け毛など

動物が苦手な人やアレルギーのある人への配慮、飼育場所やルールの調整が必要

ペットの受け入れには、避難所の への配慮が必要

過去の災害から分かったこと

飼い主の命



- 避難のためらい・遅れ
- 危険な場所へ戻る

ペットの命



- 取り残される
- 負傷・衰弱・死亡

地域への影響



- 逸走・放浪
- 人への危害・生活環境への影響

避難所の環境



鳴き声・臭い・排せつ
アレルギーへの配慮

ペットの問題は、

だけの問題ではない

過去の経験から、現在のペットの災害対策へ

過去の災害の教訓を踏まえ、静岡県が示す2つの資料

災害時における 愛玩動物対策行動指針

- 平成27年3月策定
- 同行避難を基本に飼い主・
県・市町等の役割
- 日頃の備えと災害時の対応

避難所のペット 飼育管理ガイドライン

- 平成29年3月策定
- 避難所の受け入れと飼育管理
- 運営本部と飼い主の役割
- 飼育場所・受付・ルール

飼い主の備え + 地域の受け入れ体制

過去の経験から、現在のペットの災害対策へ

災害時における 愛玩動物対策行動指針

災害時における愛玩動物対策行動指針

平成27（2015）年3月
静岡県健康福祉部



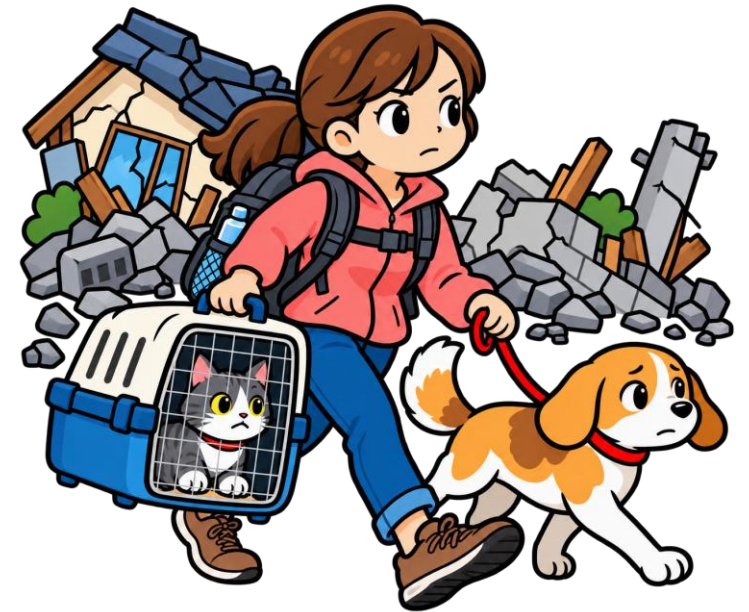
避難所のペット 飼育管理ガイドライン



同行避難とは？

飼い主がペットと一緒に

まで避難すること



※避難先で人とペットが同じ部屋で生活する意味ではありません。

なぜ同行避難が必要なのか

飼い主の命を守る

- 避難のためらい・遅れや
- 危険な場所へ戻るリスクを減らす



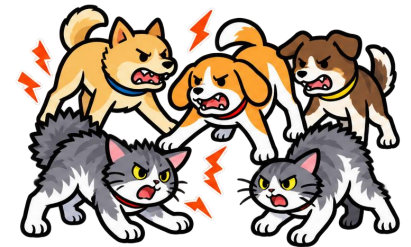
ペットの命を守る

- 取り残されることや
- 負傷・衰弱のリスクを減らす



地域への影響を
減らす

- 飼い主とはぐれたペットの
- 逸走・放浪を減らす



同行避難 + 避難先での受け入れ体制・適切な飼育管理

避難のかたち

その場所が安全かどうかを確認し、状況に応じて選ぶ

避難所

地域の避難所へ



在宅避難

自宅の安全が確保できる場合



親戚・知人宅

受け入れ先を事前に相談



車中泊

暑さ・寒さや健康への配慮が必要



災害が起きる前に、飼い主ができる備えとは？

日頃からの備え



フード・水・食器・薬など



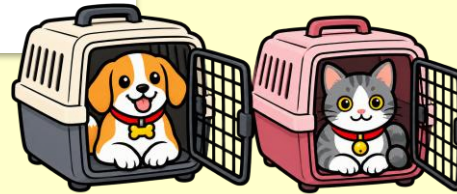
キャリーケージ・首輪・リード



名札・マイクロチップ・ペット情報



ワクチン・寄生虫予防など



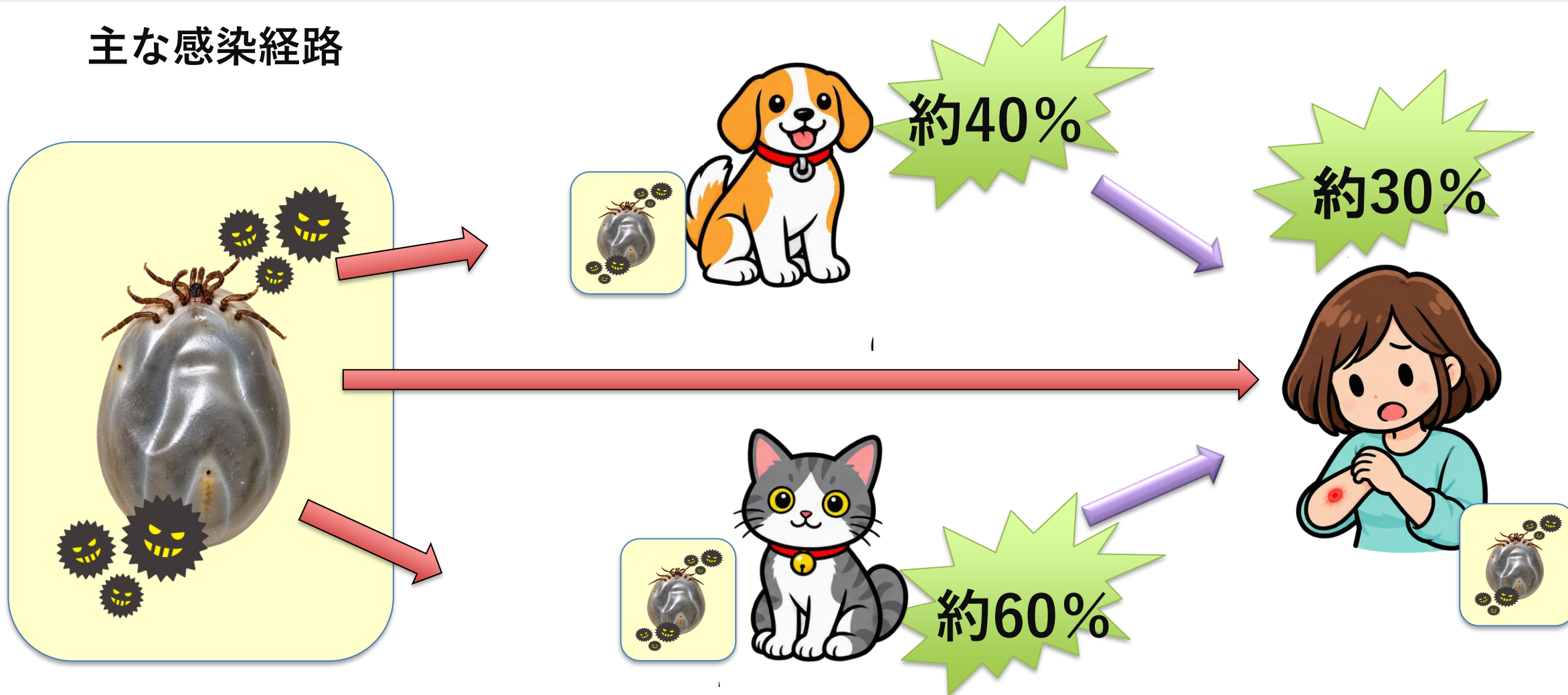
ケージに慣れる・排せつ

ペットの備蓄は、少なくとも1週間分を目安に

災害が起きてからでは間に合わない備えがある

SFTS（重症熱性血小板減少症候群）

主な感染経路



ペットの感染症対策は、



だけの問題ではない。

なぜ、地域で受け入れ体制が必要なのか

避難所の状況が分からないと、飼い主が避難をためらうことがある

ペットを連れて
いける環境

ペットの飼育
場所

飼育管理の
ルール



ペットを連れていけな
いかも...



飼い主の備え + 地域の受け入れ体制

避難所には、さまざまな人が避難してくる

ペットを飼っている人も、飼っていない人も安心できるように

子ども・乳幼児

高齢者

車椅子利用者



動物が苦手な人

妊婦

動物アレルギーの
ある人

ペット連れも、そうでない人も安心して過ごすには？

人の居住スペースとペット飼育スペースは分ける

体育館など



- 人の居住スペース
- 避難者が生活する場所

別に設ける場所



- ペット飼育スペース
- 飼い主が世話・管理する場所



身体障害者補助犬（盲導犬・介助犬・聴導犬）は、一般のペットとは扱いが異なる

動物種ごとに飼育スペースを分ける

犬のスペース



ケージ・リード等で管理

猫のスペース

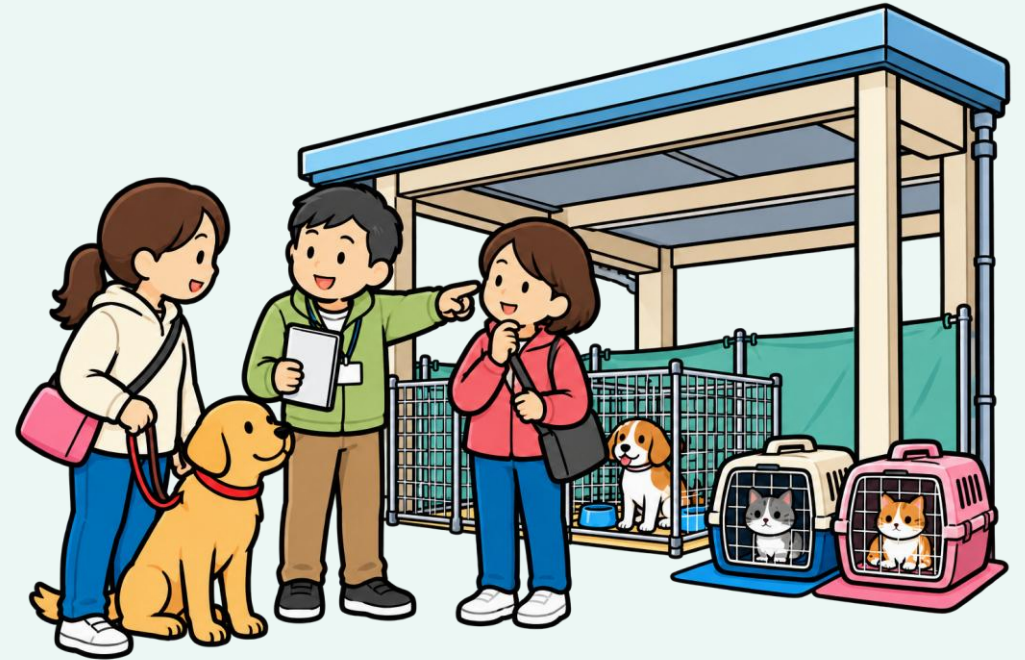


ケージ等で管理

犬・猫などの ごと ・ それぞれの に配慮する

飼育スペースを選ぶときの確認事項

- 雨・日光を避けられる
- 人の居住区・動線への配慮
- 鳴き声・臭いによる周囲への影響
- 清掃・排せつ物の処理
- 係留・ケージの設置と安全性
- 飼い主が世話をしやすい



ペット飼育スペースは、どこに設ける？

駐輪場

既存の屋根を活用

渡り廊下

既存の屋根を活用

グラウンド・屋外

既存設備などを活用

その他の場所

施設の状況に応じて検討



ペット飼育スペースは、どこに設ける？②

渡り廊下を使用したペット飼育スペース



ペット飼育スペースは、どこに設ける？③

ブルーシートを使用したペット飼育スペースの例



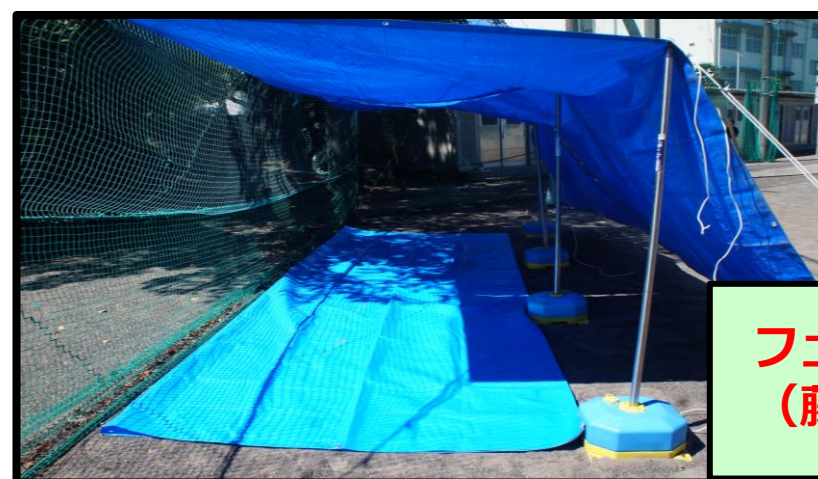
うんていを利用
(京都市)



サッカーゴール
を利用 (京都市)

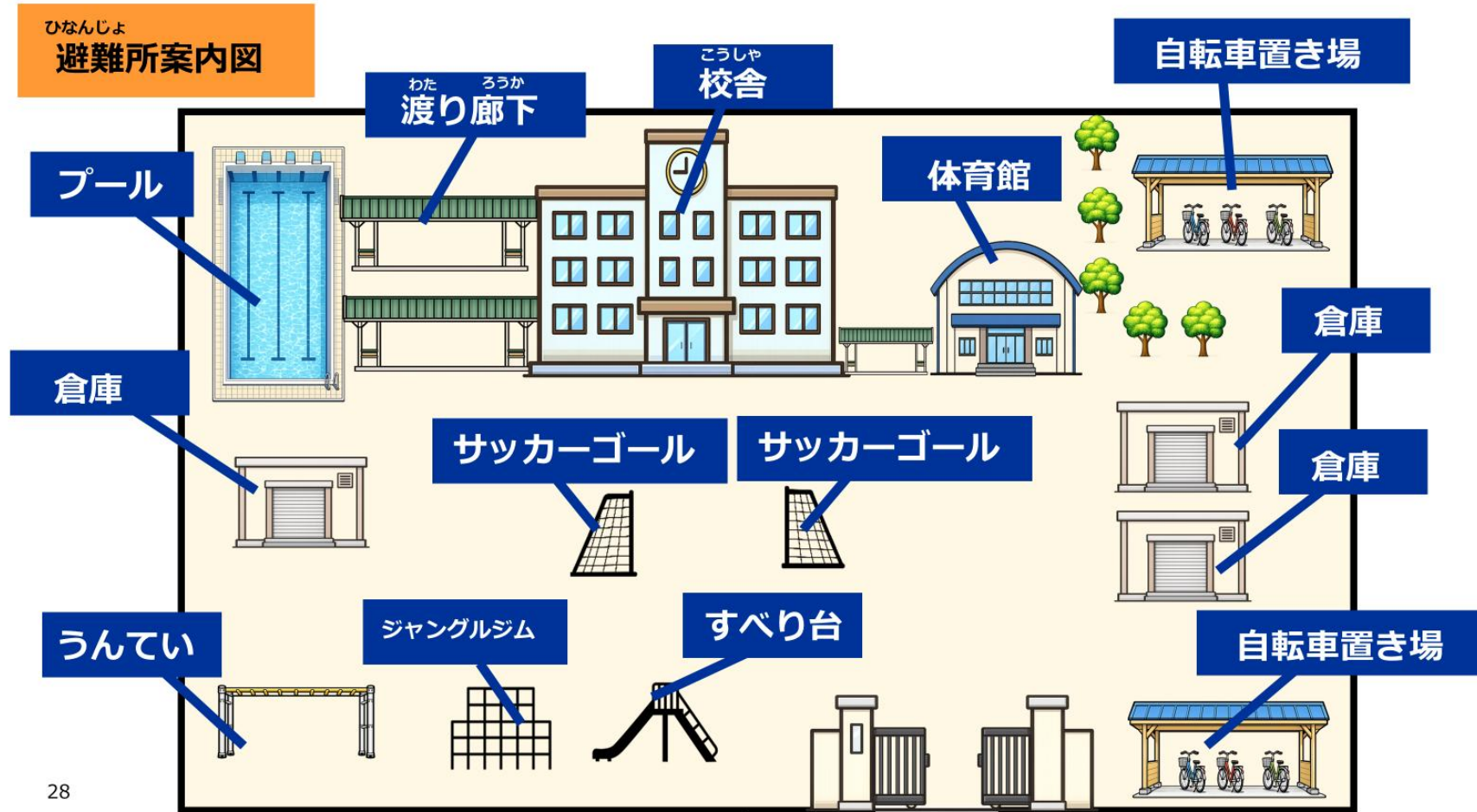


フェンスを利用
(藤枝市)



フェンスを利用
(藤枝市)

避難所でペットの受け入れを考えてみよう



配置する 5 項目

① 人の居住スペース

② 犬の飼育スペース

③ 猫の飼育スペース

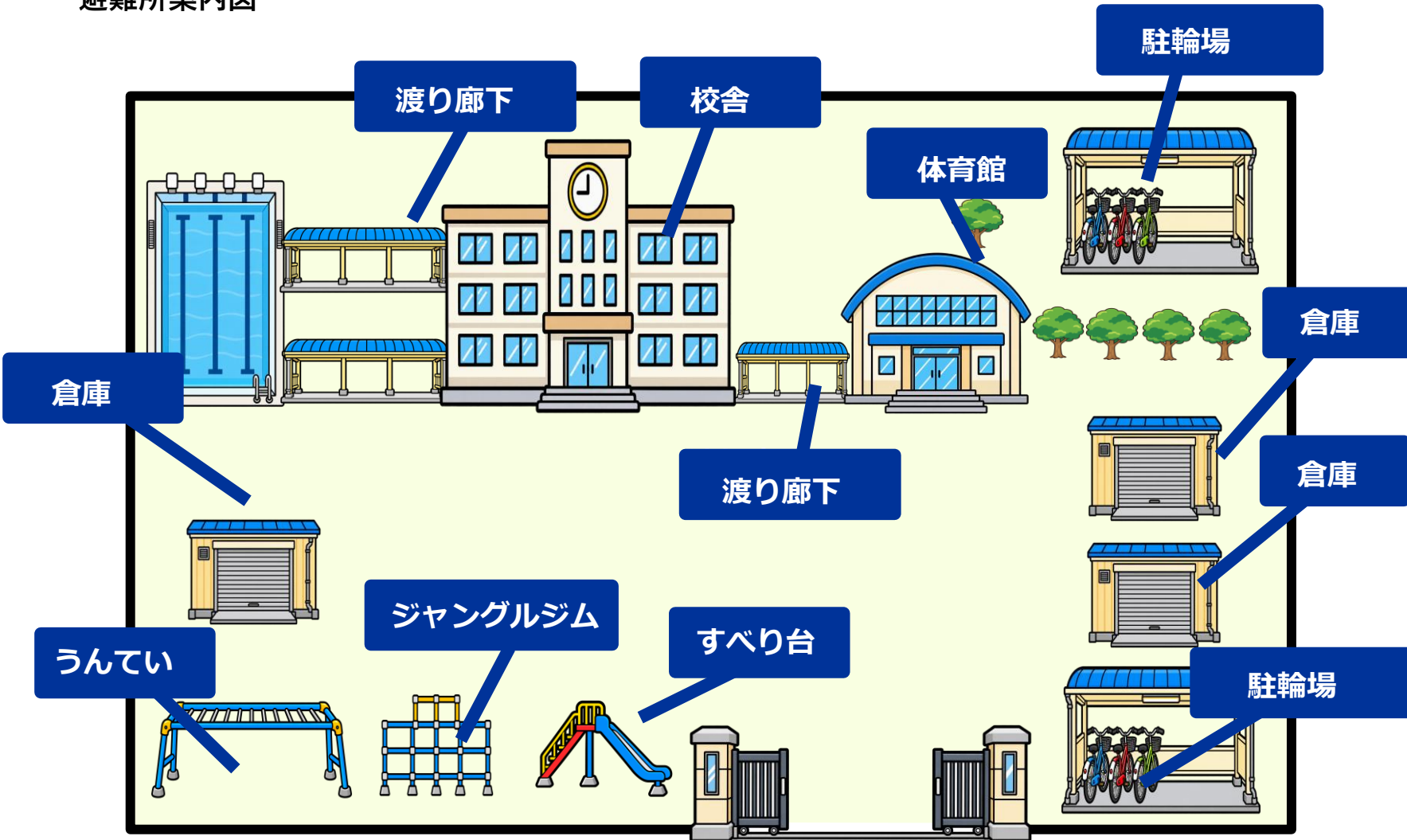
④ 仮設トイレ

⑤ 炊き出し場所

人の通り道にも配慮

避難所でペットの受け入れを考えてみよう

避難所案内図



配置する 5 項目

① 人の居住スペース

② 犬の飼育スペース

③ 猫の飼育スペース

④ 仮設トイレ

⑤ 炊き出し場所

人の通り道にも配慮

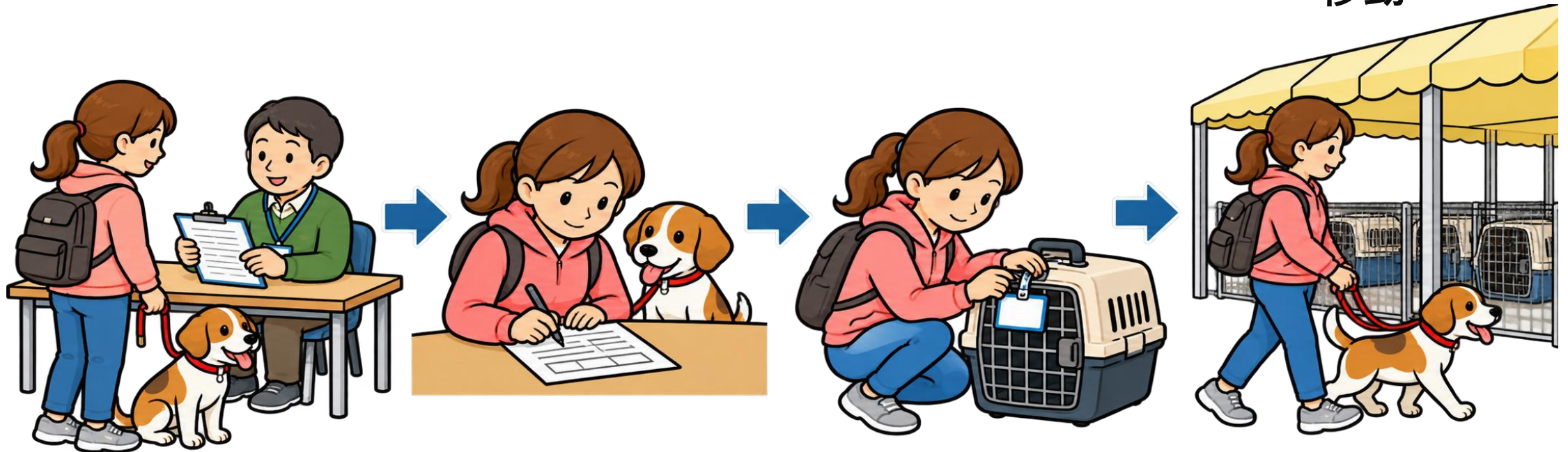
ペットの受け入れの流れ

① 受付

② 名簿に記録

③ 名札を付ける

④ 飼育スペースへ
移動



受付から飼育スペースへの移動まで、 に 流れを決めておく

① ペット飼育者名簿に記入する

ペット飼育者名簿（例）

■ペットスペースにペットを移動する前に、必ず記入してください。

受付	入所日	退所日	飼い主氏名	ペット名前	ペット種類	性別	色・大きさ	避難場所	携帯電話
(例)	12/2	12/15	静岡一郎	ポチ	犬	去勢	白・中型	体育館 富士地区	〇〇-△△
1	/	/				雄・雌・不妊去勢	・		
2	/	/				雄・雌・不妊去勢	・		
3	/	/				雄・雌・不妊去勢	・		
4	/	/				雄・雌・不妊去勢			
5	/	/				雄・雌・不妊去勢			
6	/	/				雄・雌・不妊去勢			
7	/	/				雄・雌・不妊去勢			
8	/	/				雄・雌・不妊去勢	・		
9	/	/				雄・雌・不妊去勢	・		
10	/	/				雄・雌・不妊去勢	・		



② ペットに名札を付ける

ペットの名札（例）

名 札

■ペットを飼育するケージ（無い場合はペットの近く）に貼ってください。

受付番号	
飼い主氏名	
連絡先	
ペットの名前	
種 類	
特 徴	



ペット飼育スペースへ移動する



誰でも受け入れを始められるスターターキット

ペットスペースや受付の準備を円滑に進めるために



- (1) 手順書
- (2) 掲示物
- (3) 必要な物資

がいなくても ➡ 開ければ分かる ➡ 誰でも設営できる

(1) 手順書 ◀ペット用スターターキットの中身

1 ペットスペースの設置

手順2

ペットスペースを設置する

□ ロープやブルーシートなどを使用し、動物種ごとに区分けをしてください。

※ペットスペースに**屋根がない場合**は、例を参考に対応してください。

(例1) ブルーシートを柱や遊具、木、フェンスなどにロープを使い固定する。

(例2) サッカーゴールにブルーシートをかける。

(例3) ペットのケージにブルーシートをかける。

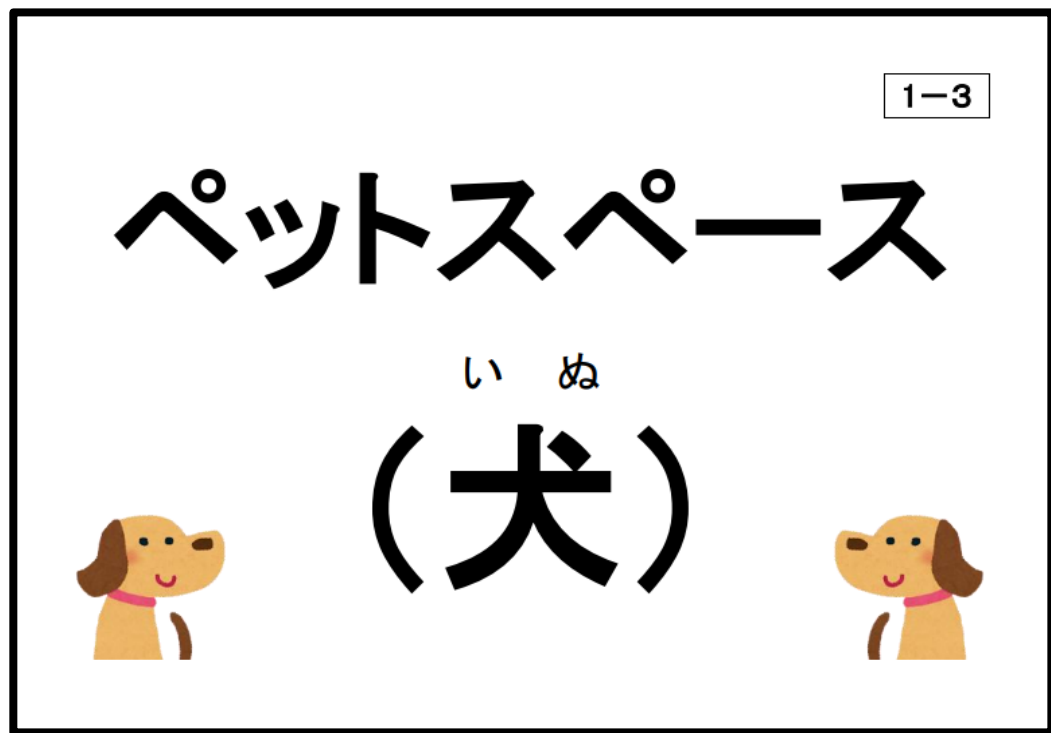
ロープ、ハサミ、ブルーシートなどは、ボックス内に入っています。

項目

作業手順

具体的な内容

(2) 掲示物 ◀ ペット用スターターキットの中身



※ 掲示物

- 大きな文字
- ふりがな
- イラスト など

必要な



を、誰でもわかるように伝える

ペットの世話・管理は、誰が行う？

原則：飼い主自身が責任を持って飼育管理する

エサ・水

散歩・排せつ

飼育場所の清掃

健康状態の確認



地域が受け入れること ≠ 地域がペットの世話を引き受けること

「飼い主の会」で協力する

各飼い主の役割

- 自分のペットのエサ・水
- 散歩・排せつ物の処理
- 健康・安全の確認



飼い主同士の協力

- 共用場所の清掃・衛生
- 飼育スペース全体の管理
- 避難所運営側との連絡・調整



と

が情報の共有と調整をする

避難所で必要な飼育管理ルール

基本は事前に決める ／ 詳細は避難生活の状況に合わせて決める

事前に決める

基本的な飼育管理ルール

避難所運営本部が事前に設定

例

- ✓ 指定された場所・方法で飼育する
- ✓ 人の居住区域には入れない
- ✓ 飼い主の責任で管理する
- ✓ 名札などで飼い主が分かるようにする

避難生活の中で決める

詳細な飼育管理ルール

「飼い主の会」で話し合い

例

- ✓ ペットスペース全体の清掃方法
- ✓ 排せつ場所・排せつ物等の処理
- ✓ 給餌の時間
- ✓ 散歩・ブラッシングの場所や方法 など

基本ルールをもとに、実際の状況に合わせて詳細を決める

地域で事前に決めておくこと



①

どこで受け入れるか

- ・ ペットの飼育スペース
- ・ 動物種ごとの区分
- ・ 使用できない場合の代替場所

②

どのように受け入れるか

- ・ 受付場所・受付方法
- ・ 名簿・名札
- ・ 飼育スペースまでの流れ

③

どのように管理するか

- ・ 基本的な飼育管理ルール
- ・ 飼い主の役割
- ・ 「飼い主の会」との連携

④

誰でも対応できるようにする

- ・ 手順書・スターターキット
- ・ 必要な資機材
- ・ 訓練で確認する

「 」を平時に話し合う

ペットの災害対策は、地域の防災力につながる

ペットの対策は、ペットを飼っている人だけのためではない

① 飼い主の避難を支える

「ペットがいるから
避難できない」を減らす

ペットの
災害対策

② 避難所の混乱を減らす

受け入れ場所・役割・
ルールを事前に考える

③ 地域の安全・生活環境を守る

衛生管理・放浪動物への対応など

ペットの災害対策 = 支援 = 対策

まとめ

①

飼い主が日頃から備える

備蓄・避難用品・健康管理・しつけ・所有者明示

②

地域で受け入れる体制を整える

場所・受付・基本ルール・誰でも対応できる仕組み
天候や避難所の状況に合わせて見直す

③

災害時は状況に応じて対応する